民主むろらん

日本共産党
室蘭地区委員会

発行責任者
毛利　敏
室蘭市東町4-7-8
電話(44)5573

萬世閣労組訴訟で全面勝利和解

"安全・安心の万世閣に"

「裁判闘争勝利報告集会」開く

ホテル萬世閣の解雇、残業代不払い、パワハラ、労災など9件の事件で労働者が訴えていた訴訟が全面勝利和解で決着したことを受けて2日、「萬世閣労組を支援する会」主催の「萬世閣労組裁判闘争勝利報告集会」が室蘭市中小企業センターで開かれました。

萬世閣労組裁判は、2008年12月に従業員が萬世閣労組を結成し、26名が原告となって労働委員会や裁判でたたかい、今年1月に、中労委審判の会社と労組双方の解決文書整理を残し全て解決したもので、その内容は、原告の全員に解決金が支払われ、様々な不法行為に対し、「ホテル」側が謝罪すると言う内容になっています。

報告をした齋藤耕主任弁護士は、「この勝利は、ホテル萬世閣にはたらく従業員の労働条件を守るだけではなく、無権利状態ではたらいている他のホテル従業員にも労働条件の改善につながってきている」と、このたたかいの意義と成果を高く評価しました。

報告とお礼の挨拶を行なった萬世閣労組の橋本康雄委員長は、「3年前、将来の見えない会社、自らの将来を考え、労組を結成し仲間を助けたい一心でたたかってきた。今後も、ホテルで働く仲間の労働条件改善に力を尽くしたい。お客様に安心と来て良かったと言える職場にしたい」と決意表明をおこない、参加していた原告全員が、正面に並び、参加者から激励の拍手が送られました。

裁判終結を受け「支援する会」は解散を確認。今後も地区労連を中心に地域で労組を支えていくことを確認しました。

同じ模様
―民主と自民　増税に違いなし
倉田　新

供託金募金と選挙募金へのご協力を心から訴えます

日頃から日本共産党へのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

野田政権は、今や「自民党以上に自民党的な政権」となり、震災復興・原発ゼロという国民の願いに背を向け、消費税大増税と社会保障切り捨て、TPP参加などへの暴走をつづけています。

国民の願いは裏切られ、いま、民主党も自民党・公明党も国民に希望ある方向を何一つ示すことができません。アメリカ・財界いいなりの古い政治を変える以外に国民の願いにこたえる道はありません。

日本共産党は、来たるべき総選挙では、すべての比例代表ブロックでの議席獲得・議席増をめざし、北海道では、はたやま和也予定候補を擁立してたたかい、また、道内12の全小選挙区に候補者を立ててたたかう準備をすすめています。

このたたかいを保障するために、立候補に必要な供託金、12選挙区3600万円（1小選挙区300万円）をはじめ、多くの資金が必要です。

日本共産党は、企業・団体献金や政党助成金を受け取らず、支持者のみなさんに支えられて選挙をたたかっています。選挙のたびごとにお力を借りていますが、総選挙で必ず勝利するために、募金へのご協力を心からお願い致します。

2012年2月
日本共産党北海道委員会
日本共産党室蘭地区委員会

お詫びと訂正

先週号2月5日の「民主室蘭」2面の2・11ピースジャンボリーのお知らせ記事の中の「展示・作品会場」で　◇「河原正司さん提供」とあるのは「岡原正司さん提供」の誤りでした。謹んでお詫びし、訂正させて頂きます。

◇岡原正司さん提供の中国宇宙船縮小模型5点は以下の通りです。

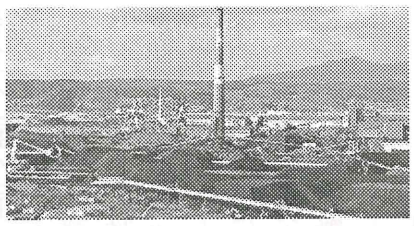
・中国有人宇宙船「神舟5号」、同「神舟7号」
・同　月探査衛星「嫦娥1号」
・同　無人宇宙モジュール「天宮1号」
・同　衛星打ち上げロケット「長征2号」

労働相談を受け付けています
雇用問題110番
TEL44-9202

第8回 2・11平和をねがう文化のつどい
PEACE JAMBOREE
ピース　ジャンボリー
東日本大震災チャリティー
★参加協力券
一般1,000円　学生500円
（中学生以下無料）
■とき 2012年2月11日(土・祝)
■ところ 室蘭市民会館
◆ステージ 11:00～15:00
◆展示部門 10:00～15:30
主催　2・11平和をねがう文化のつどい実行委員会

広畑製鉄所ホームページに石綿相談窓口
室蘭は「所内報」掲載打ち切り

新日鉄広畑製鉄所のホームページに、このほど「アスベスト（石綿）に関する相談窓口」が掲載されました。それによると、退職者、社員別にそれぞれ相談窓口を設け、相談を受け付けています。



一方、室蘭製鉄所は、2007年5月号まで所内報の「しらかば」に「石綿に関する相談窓口の再確認」という「相談窓口」案内を掲載していましたが、同年9月号から突然掲載を中止してしまいました。しかも室蘭製鉄所のホームページには、広畑製鉄所のような「相談窓口」案内はありません。

室蘭製鉄所では、「しらかば」掲載再開は、本社の指示がなければ「できない」との見解ですが、広畑製鉄所が独自にホームページに掲載していることからも、室蘭製鉄所の判断でできるのは明らかです。

2005年7月15日付の「石綿取り扱い作業などに従事した退職者に健康診断、健康管理手帳、労災補償制度の周知をはかる」よう求めた厚生労働省通達順守の立場からも、新日鉄は、あらゆる機会を通じて、健診の呼びかけと健康管理手帳に関する説明を行うべきです。

厚生労働省通達（2005年7月15日）

「石綿による健康障害防止対策への適切な対応について」では、「製鉄所など石綿含有製品を取り扱っていた事業所に対し、『石綿取り扱い作業などに従事した退職者に健康診断、健康管理手帳、労災補償制度の周知をはかる』よう協力を求めています。

かけある記

「きちっと…」を連発する野田総理のきちっとしない対応

二月六日

日本共産党参議院議員　紙　智子

一八〇通常国会の論戦がはじまり、各党の代表質問の後、「TPP・外交問題での集中審議」が行われ、一月三十一日、参議院で今年最初の質問に立ちました。

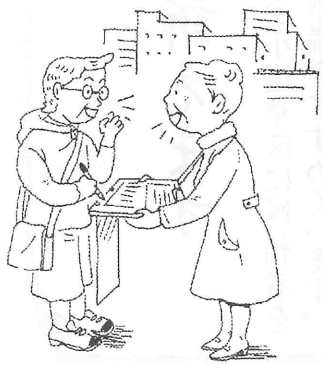
野田総理は、TPP参加に向けた各国との事前協議で「国民への説明と情報提供をきちっとやり、国民的な論戦を十分行って結論を得る」と明言していましたが、その前提が覆される事態が明らかになりました。ニュージーランド政府の公式発表で交渉内容は、限られた対象にしか明らかにせず、協定が発効した後も四年間秘匿されることが合意されていたことがわかったからです。

このことを指摘すると、野田総理は、それを認め、「外交交渉では、相手国が非公開で提示したものは、尊重するのが通常当然の対応だ」と言い、その上で「出せる情報はきちっと出す」といいました。出せないものは出さないということです。何度も「きちっと」という言葉を使うときは、逆にきちっとできないことがあるのだと思いました。それにしても、国民をごまかす態度は許せません。徹底して情報を出させ、国民の中での大論議にしていかなければなりません。

二月五日、福島革新懇の主催でTPPのシンポジウムに参加しました。国も電力会社もマスコミも総動員で行った「安全神話」によって重大な事故にいたった原発事故の教訓からも、TPPで二の舞にしてはいけないという、現地の声は、強く胸に響きました。

「社会保障と税の一体改悪」許すな
15日 年金日宣伝を行います

今年最初の年金支給日となる15日、年金者組合室蘭支部と日本共産党室蘭地区委員会は午後1時から中島町アイランドで年金・医療改悪と消費税増税に反対する宣伝・署名行動をおこないます。



野田民主党政権は、「将来の社会保障を支えるためには消費税増税は避けられない」と今国会に、「社会保障と税の一体改革」法案を提出し、何が何でも成立させようとしています。

景気が低迷し、国民の暮らしは今でも大変なのに、「一体改革」が行われれば20兆円の新たな国民負担が襲い掛かります。

「こんな悪法ゆるせない」の声をみんなで上げましょう。

暮らしの案内

道営住宅の入居者募集

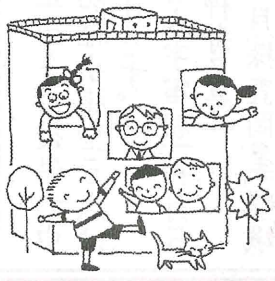
募集団地　市内の道営住宅

申込方法　2月20日から、むろらん広域センタービル3階室蘭建設管理部会議室で配布する申込書に必要書類を添えて、2月24日まで直接

抽選日　2月27日(月)

入居予定日　4月上旬

詳細　胆振総合局建設指導課　☎24-9903



サラ金被害をなくす希望の会

○毎週水・金
午後6時30分～

「なくす会」事務所
・室蘭市東町2丁目-35

連絡先：47-0795